

基礎確認問題-1

問題

財の分類

ある消費者は、所得をすべて2財X、Yに支出します。今、X財が下級財、Y財が上級財である場合、X財の価格が下落し、Y財の価格および所得が不変であるとすると、この消費者の2財の消費量の変化に関する次の記述のうち、妥当なのはどれですか。

- 1 .X財の消費量は、代替効果により減少し所得効果により増加します。
- 2 .X財の消費量は、代替効果により増加し所得効果によっても増加します。
- 3 .Y財の消費量は、代替効果により減少し所得効果によっても減少します。
- 4 .Y財の消費量は、代替効果により減少し所得効果により増加します。
- 5 .Y財の消費量は、代替効果により増加し、所得効果によっても増加します。

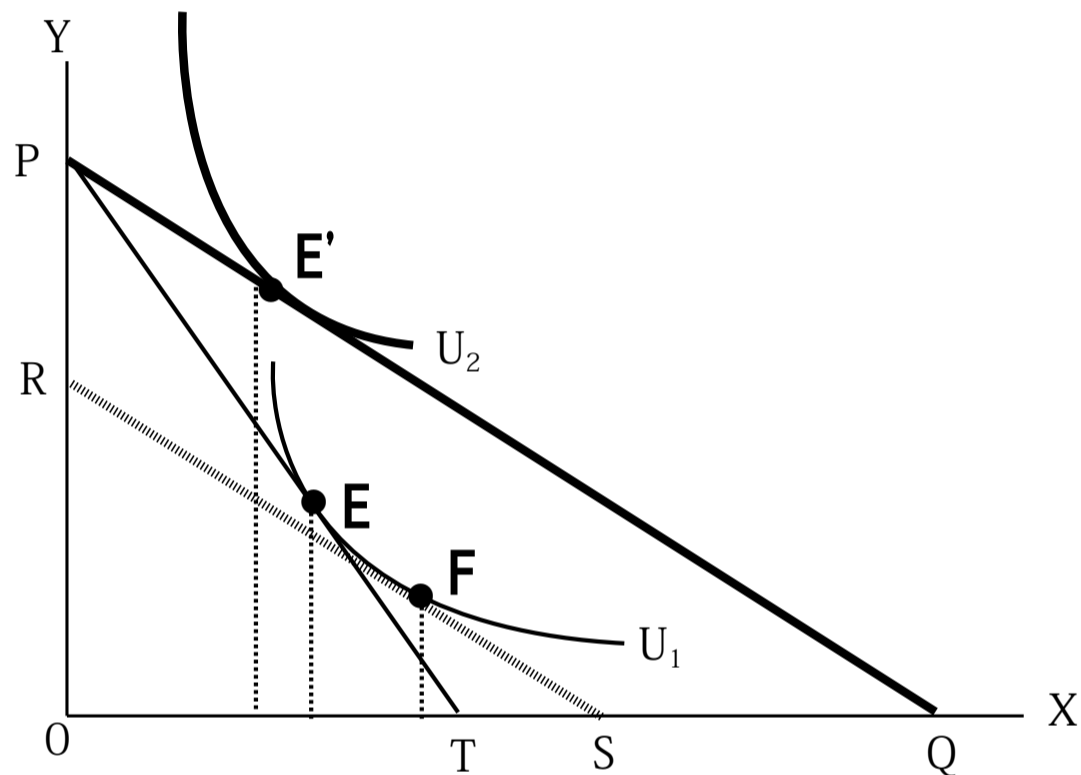
(国家Ⅱ種 改題)

基礎確認問題-2

問題

財の分類

次の図は、X財とY財との無差別曲線を U_1 および U_2 、予算線PTの消費者均衡点をE、予算線RSの消費者均衡点をF、予算線RSと平行に描かれている予算線PQの消費者均衡点をE'で示したものです。今、X財の価格の下落により、予算線PTが予算線PQに変化し、消費者均衡点がEからE'へと移動した場合の需要変化に関する記述として、妥当なのはどれですか。



- 1 X財は、上級財であり、X財の価格下落による正の所得効果および正の代替効果により、全体としての効果はプラスとなります。
- 2 X財は、上級財であり、X財の価格下落による正の代替効果が負の所得効果を下回るため、全体としての効果はマイナスとなります。
- 3 X財は、下級財であり、X財の価格下落による正の代替効果が負の所得効果を上回るため、全体としての効果はプラスとなります。
- 4 X財は、ギッフェン財であり、X財の価格下落による負の所得効果が正の代替効果を上回るため、全体としての効果はマイナスとなります。
- 5 X財は、ギッフェン財であり、X財の価格下落による負の所得効果が正の代替効果を下回るため、全体としての効果はプラスとなります。

(地方上級 改題)

基礎確認問題-3

問題

財の分類

3種類の財 X、Y、Z を消費する家計を考えます。X 財と Y 財はともに代替財、Y 財と Z 財はともに補完財です。また、X 財は劣等財であるが、Y 財、Z 財は正常財であるとします。いま、Y 財の価格のみ低下したとします。このとき次の文中ア～カに入るものがいずれも妥当なのはどれですか。

X 財の消費は、代替効果からみると し、所得効果からみると します。Y 財の消費は、代替効果からみると し、所得効果からみると します。Z 財の消費は、代替効果からみると し、所得効果からみると します。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	減少	減少	減少	減少	減少	増加
2	減少	減少	増加	増加	増加	増加
3	減少	増加	増加	減少	減少	減少
4	増加	減少	増加	減少	増加	減少
5	増加	増加	減少	増加	減少	増加

(市役所上級 改題)